

秋－5 自転車で行こう

1. 活動の目的

- ①日常生活の「足」としての自転車に注目し、環境や健康といった面から自転車の良さを知る。
- ②自転車の交通安全ルール、マナーを知る。

2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

- ☆「交通安全テスト」配付用にコピー
- ☆映画「E. T.」のポスター写真

3. 活動の手順 **留**：留意点 **参**：参考 **発**：発展的活動

活動1

- ・自転車との出会いについて話す。どのように自転車に乗る練習をしたか、乗れた時、どんな気持だったかなど話すとよい。自転車に乗れない学習者がいたら、自転車に乗れるようになりたいか、乗れたらどこへ行くかなど聞いてみる。
- ・自転車を持っていない学習者には、買い物や子供の学校に行く時など、何で行くか聞く。
- ・学習者の国での自転車事情を話してもらう。
自転車の利用度、目的（遊びが主か、生活の移動の手段か）
どの家庭にも必ずあるか など

参 ある韓国人の学生は日本の自転車について「自転車が多くてびっくりしました。韓国では、自転車はレクリエーションとして楽しむもので、日本のように移動や運搬など実用的には乗らないから」と述べている。

「E. T.」の
ポスター

参 スティーブンスピルバーグの映画「E. T.」で少年が乗っていた自転車は日本製（大阪今里「桑原自転車」製）。E. T. を知っている学習者がいたら、活動の導入として映画のポスターを見せ、話してもよい。

活動2

- ・日本で見た「自転車」についての感想を話す。テキストの写真のような光景を見たことがあるか、聞く。
※テキストの写真左は放置自転車の山、右は歩道をふさいでとめてある自転車
- ・放置自転車は市などが撤去し、引き取りにはお金がかかること、点字ブロックの上に自転車を止めてはいけないことなどにも言及する。

参

- ・外国人からは、女性がハイヒールで自転車に乗っている／お年寄りが乗っている／自転車を止めておいても盗まれない などの声がよく聞かれる。
- ・学習者から「自転車のハンドルに傘を取りつけて走っている」（商品名：さすべえ）という意見が出るかもしれない。自転車教則には「傘を自転車に固定し

て運転するときも、不安定となったり、視野が妨げられたり、傘が歩行者に接触するなどして、危険な場合があります。」と書かれており、法律で禁止されていないが、マナーを守って使用することが必要である。

活動3

- ・北川さんの話に書いてあることを参考に、環境や健康面からどんなメリットがあるか考えてもらう。デメリットも考える。

参 自転車のメリット、デメリット:

- ・車の渋滞の緩和(=早く目的地に行けて時間の節約ができる・排気ガスによる大気汚染の軽減) / いい運動になる / 走りながら自然を感じることができる
- ・放置自転車の問題 / マナーの悪さ 等

- ・「ママチャリ」のイラストを見て「ママチャリ」はいわゆるスポーツタイプの自転車とどこが違うか、話す。ママチャリに乗っている学習者がいれば、どんなところがいいか、話してもらう。

参 「ママチャリ」は俗称。女性が乗っても安定走行ができ、主に買い物のために利用される自転車。前かごがある、スタンドは両立スタンド、またがりやすいようにフレームが低くなっているなどの特徴がある。日本の「ママチャリ」は海外でも評価されている。

活動4

- ・事故の経験を読んだあとに、次のような質問を投げかけて、学習者に考えてもらう。

*歩道を自転車で走っている人を見たら、あなたは注意しますか。

*もし、あなたがこの男性だったら、相手が「大丈夫」と言えばそのまま行ってしまいますか。

*あなたがマリアさんだったら、事故が起きた時、自転車の男性に何と言いますか。

- ・自転車事故の経験を話す。大きな事故でなくても、ちょっとした事故やヒヤッとした経験でもかまわない。また、見たり、聞いたりしたことでもよい。
- ・テキストの表を見て、自転車事故が増えていること、歩道での事故が多いことに言及しておく。
- ・交通安全テストは学習者が一人でやるのではなく、二人か三人のグループで相談しながらするほうが楽しいだろう。

交通安全
テスト

答え: ①× ②× ③○ ④× ⑤× ⑥× ⑦× ⑧○ ⑨× ⑩×